



幸手市郷土資料館 ガイドブック

郷土資料館のつかいかた

歴史
探検

手仕事
体験

生きがい
発見

ようこそ 幸手市郷土資料館へ



歴史展示室

歴史を知り、郷土愛を育む



民具資料展示室

扉を開けると
懐かしい道具(モノ)たちが語りかけてくる

民具資料展示室の建物は、昭和24年(1949)5月に竣工した旧吉田村立吉田中学校の校舎です。すでに半世紀以上を経た木造校舎のたずまひは、訪れる人に懐かしい昭和の時代を思い起こさせるノスタルジックな雰囲気を出しています。

◆ 常設展示

～15年の歳月をかけた幸手市史編さん事業の成果がここに宿る～
およそ5,500年前の縄文時代から現代までの幸手の歴史やゆかりの人物を紹介しています。

◆ 特別展示・企画展示

常設展示の内容をより深く掘り下げて紹介する展示など、幸手の歴史・文化などをテーマにした展示をします。



写真：開設記念特別展 権現堂堤の歴史

電気もガスも水道もない昔の生活で使われた、たくさんの道具を展示しています。



～くらす～

衣・食・住に必要な、身の周りの道具



～まもる～

消防やまつり行事の道具・大蛇など

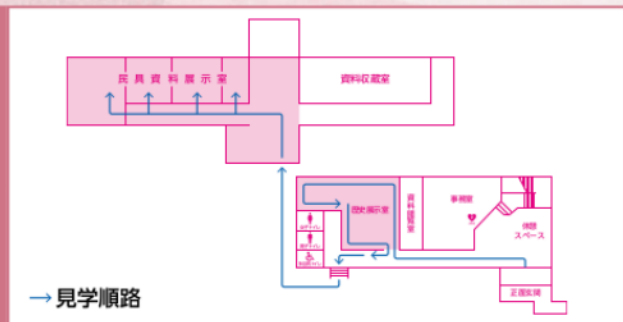


～つくる～

米作り・農業・養蚕・職人芸などに
関係した道具



幸手市郷土資料館
展示室のご案内



歴史を学び、歴史を活かす

ボランティア養成・手仕事体験・学習講座

市民ボランティアが郷土資料館のさまざまな事業に参加することで、郷土資料館が市民との協働の場、市民の生きがいづくりの場となり、幸手の歴史や文化を慈しみ、継承する「ひとづくり」の場となるよう目指していきます。現在、市史編さん事業で収集した古文書などの歴史的資料を整理する、古文書等資料整理ボランティア、また、「幸手白」とも呼ばれた白木綿の生産が盛んだったという歴史に着目し、館内で機織り体験をしてもらうため、機織り体験市民ボランティアの皆さんが活動しています。



「ボランティア」って楽しい

古文書等資料整理ボランティア

機織り体験市民ボランティア

※ボランティア活動には、講座の受講が必要となります。

古文書の学習講座を継続的に開催し、文字によって伝えられた幸手の歴史を学習する機会を提供します。また、市史講座を開講し、郷土の歴史への理解を深めていただきます(参加は、広報さって・ホームページに掲載されるお知らせをご覧ください)。

「学ぶ」って楽しい



初心者のための古文書学習講座

市史講座

郷土資料館では、資料の展示公開だけでなく、幸手の歴史のなかで生み出された地域資源を活かし、手仕事の体験事業に取り組みます。

機織り体験(コースターをつくります)

★1人1枚(所要時間約30分)

幸手は、「幸手白」とも呼ばれた白木綿の織物生産が盛んでした。

体験できる日 現在は不定期開催のためお問い合わせください。

※要予約・無料

藍染め体験(乾燥藍葉で布を染めます)

幸手でも古くから藍を作り、藍染めの文化がありました。

体験できる日 夏～冬を予定しています。



「手仕事体験」って楽しい

薬で作るお正月の飾り物体験

米どころ幸手には、稲葉で大蛇や人形、お正月飾りを作る文化があります。

体験できる日 12月中旬を予定しています。



内容については変更となる場合があります。詳細については、郷土資料館(47-2521)にお問い合わせください。



—藍・木綿・茶—



藍



木綿



茶

手仕事の体験学習に使ったり、参考にしたりするため、郷土資料館の敷地内で藍と木綿、茶を育てています。藍は藍染めに、木綿は綿織り機で種を取り、糸車で糸を紡ぎ機織りに使います。民具資料展示室には、昔幸手で使われた藍染めの道具や綿織り機・糸車が展示されています。茶は、今からおよそ350年ほど前の江戸時代に、郷土資料館周辺でたくさん作られていました。



ポタリングで郷土資料館へGO!

いつもと少し違う幸手の風景を楽しみながら、さわやかな川風に吹かれ、健康づくりにも役立つサイクリングで、自然豊かな郷土資料館へご来館ください。



市内名所めぐりながら郷土資料館へ

幸手駅出発! → 1 国登録有形文化財・岸本家住宅主屋 → 旧日光道中幸手宿 → 2 聖福寺・勅使門 → 3 権現堂桜堤 (4 順礼の碑) → 5 権現堂河岸場跡 → 6 千日念仏廻向供養塔 → 7 マリア地蔵 → 8 ひばりヶ丘工業団地 → 9 宇和田公園 → 10 11 惣新田三田の大蛇 → 12 上宇和田の大蛇と人形 → 13 古川橋 → 中川沿 → ★ 郷土資料館



お帰りも楽しく文化財巡りをしながら

郷土資料館 → 中川沿 → 本因坊第九世察元の墓石 → 将門の首塚 (浄誓寺) → 本因坊第十世烈元の墓石 → ウェルス・アスカル幸手 → 本因坊第八世伯元の墓石 → 天神島天神神社 → 幸手市立図書館・中央公民館 → 岸本家住宅主屋

※ 本因坊の墓石は共同墓地や個人墓地にあるためお参りするときは充分御配慮ください。

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで

入館料 無料

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

アクセス

お車の場合 圏央道幸手ICより約10分 ※駐車場あり(22台)

電車の場合 東武スカイツリーライン東武動物公園駅下車
朝日バス境車庫行き「吉田橋」下車徒歩5分



建物の配置



ご来館をおまちしています

幸手市郷土資料館

住所 〒340-0125
埼玉県幸手市大字下宇和田58番地4
電話・ファックス 0480-47-2521
ホームページ <https://www.city.satte.lg.jp>

掲載内容は、令和5年4月現在のものです。